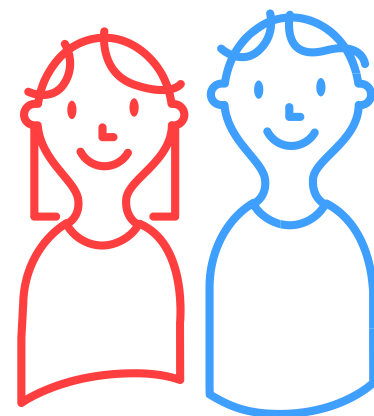


京都アドラーグループ



2011年6月18日
日本アドラー心理学会
近畿地方会

私たちのグループを 紹介します

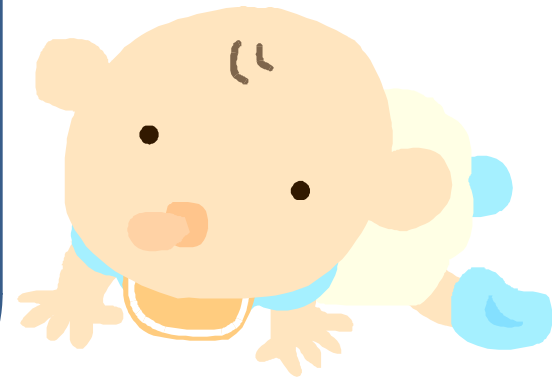


- * 2006年から活動開始
- * 開催日時: 毎月第4土曜もしくは第4日曜
- * 開催場所: 京都市内のマンションの集会所
- * 会員制(年会費で運営)
- * 男性会員と女性会員の割合は1:2くらい
- * <http://www.ab.auone-net.jp/~adlerian/>

どんな経緯で始まったの？



2005年の近畿地方会で、中井亜由美さんが「京都に自助グループを作ります！」って宣言したんだ。それから、滋賀の山口育子さんが背中を後押ししてくださって、実現したんだって。その頃の近畿地区の理事もたびたび例会に足を運んでくださって、たくさんの人の応援で出来上がったんだよ。



どんなことをやってるの？



講習会に参加する人が多いから、

講習会の復習なんかをやってるよ。

最近では、家族布置をやったり、事例を出してもらってピンポン効果を皆で検討しながらやったりしてるよ。



特殊講義の後は、そのテキストを再度使って、皆でシェアリングしながら復習もしてるの。受講した人によって注目したところや、印象的だったところが違うから、それがとっても興味深いし、自分では気付かなかった新たな視点をもらうことが出来て、**より学びが深くなる**のよ。



特徴って、どんなこと？



運営委員会を設けていることかな。
後は、運営委員を中心に、会員も
それぞれ何らかの役割を持って
参加してるわ。



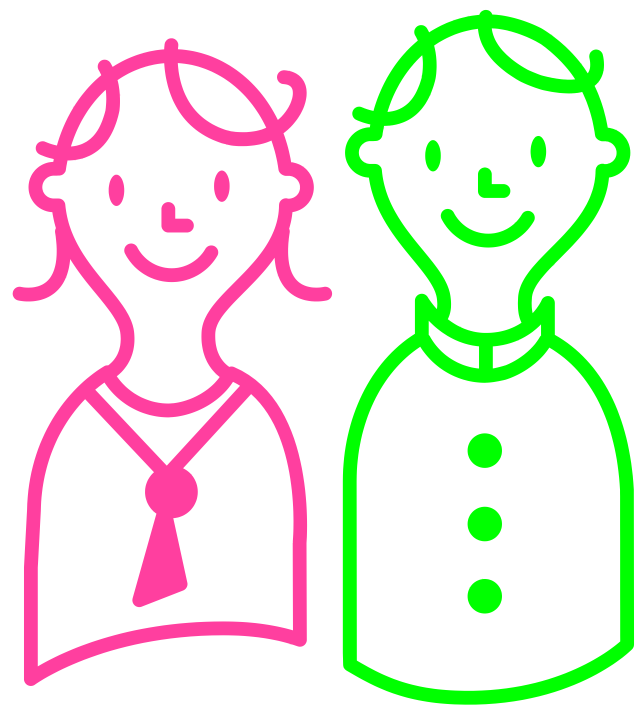
例えば、今回のこのポスターセッションもメンバーの一人がリーダーになって、皆と協力しながら作成したんだ。皆それぞれ**参加できるところで協力**しあってるよ。それに、会員同士でとてもよく話し合っていて、何か懸案事項があったときは、それぞれが、平等の位置で意見が言える雰囲気作りを心がけて話し合うようにしてるんだ。

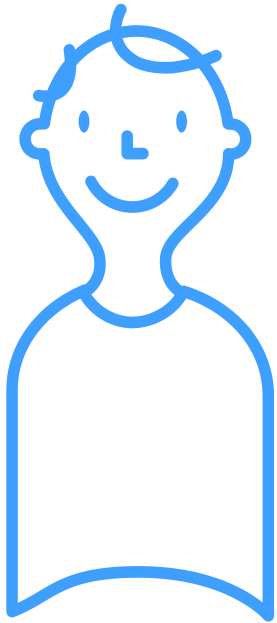


事例は、親子関係以外にも職場の人間関係や夫婦や男女関係、友人関係のことなど、多岐に渡るんだ。だから、**男性会員が多い**のも大きなメリットで、男性側の視点が得られて、女性会員から「そんな考えがあるのね」といった感想が聞かれるよ。また、男性会員からも、ここで女性に話しをするときの練習をしてから、奥さんに対応してみるという意見もあるんだ。



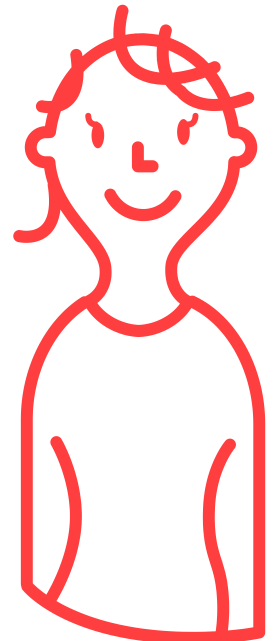
グループのルールと ルールが出来た経緯





「特徴の中でも述べたように、
私たちは運営委員会を設け、
規約に則って京都アドラー
グループを運営しています

ここからは、それに至った経緯と、
現在の状況についてご説明
いたします



1. グループ活動で問題になったこと



- * 当初は、ネットの掲示板を利用し連絡を取り合っていた
- * 参加しているメンバーごとに、グループ全体にどのくらい積極的に関わるか、という姿勢が異なっていた
- * そのことによって、例えばワークや講習会の誘致に関しても意見がまとまらず、このままでいいのだろうかという思いがメンバーの中に出てきた



2. そのときにどのように考えたか

- * **会員制**にして、グループに関わる姿勢を明確にしよう
- * ある程度方向性を決められる権限を持った人たちによる**運営委員会**を設けてはどうか
- * 運営方法は運営委員会を中心に案を出し、その後メンバーと話し合っ**て決定するのはどうか**



3. そして、どのように対処したか

- * メンバーには、正会員かビジター会員かを選んでもらう
- * グループの運営に関して
 - ➡ **正会員は議決権を有する**
 - ビジター会員は意見は言えるが議決権はない**
- * 運営委員は、正会員からの立候補をつのり決定した

* 懸案事項は、まずは運営委員会の委員（現在4名）
で案を作成

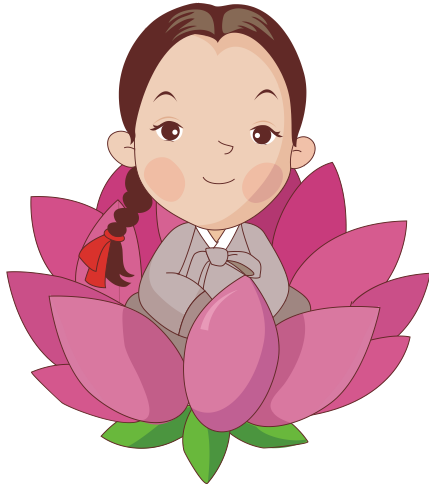
➡ 正会員にその案を提示して話し合う

➡ 決定する

* **規約**を作成

* 年に1回**総会**を開催。
1年を振り返り、次年度の
方向性を話し合った





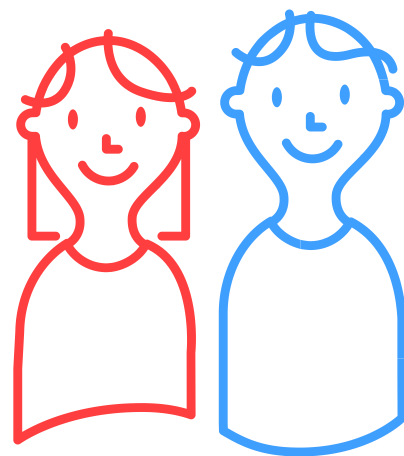
4. その結果はどうだったか

- * 立候補で決まった運営委員は、それぞれの得意分野を生かしてうまく**役割分担**できた
- * 規約をつくること、総会を行うことは、小さい組織に必要なのか？という迷いがあったが...
 - ➡ 最初に**皆が参加してルールを決めておく**ことが最もシンプルで問題が生じない方法であると学んだ

* 運営委員を設けることで、リーダーがグループへの参加が難しくなっても、他の運営委員でグループ活動を停滞することなく、**継続的に運営できる体制**をつくることができた

* 運営委員に限らず、正会員も積極的に参加し、主体的に取り組んでもらうことで、**皆がそれぞれ、グループへの貢献感を持ち、それがまた次へつながっていくことを学んだ**





ありがとうございました

